



西本裕矢



高橋宗芳



小林美恵



アーツ室内オーケストラ

米国ショパンコンクールで優勝!ピアニスト西本裕矢 × アーツ室内オーケストラ

アーツ室内オーケストラ 春期演奏会2025

新たな風が吹く、注目の初共演～心に響く1日限りのプレミアムステージ～

ピアノ：西本 裕矢 (Yuya Nishimoto / Pf)

指揮：高橋 宗芳 (Muneyoshi Takahashi / Cond)

アーツ室内オーケストラ (Arts Chamber Orchestra)

コンサートミストレス：小林 美恵 (Mie Kobayashi / Concert mistress)

ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op. 11

F. Chopin: Piano Concerto No. 1 in E Minor, Op. 11

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第7番 ヘ長調 Op. 59-1 『ラズモフスキー第1番』(弦楽合奏版)

L. v. Beethoven: String Quartet No. 7 in F Major, Op. 59, No. 1, "Rasumovsky" (version for string orchestra)



ミズキーホール

横浜市港北区民文化センター

2025.2/16 (日) 開演 14:00 (開場 13:30)

会場 横浜市港北区民文化センター ミズキーホール【全席指定】

料金 4,500円【チケットぴあ Pコード:282-010】10/16(水)10時より販売開始



▲
チケットぴあはこちら

【主催・お問い合わせ】横浜市港北区民文化センター ミズキーホール

〒223-0052 神奈川県横浜市港北区綱島東一丁目9番10号 新綱島スクエア4・5階 TEL. 045-533-2360 [お問い合わせ時間] 9:00~22:00(第3火曜日休館日) ※窓口受付は21:00まで

【後援】ポーランド広報文化センター、日本ショパン協会 【協力】一般社団法人アーツブレッド 【監修・音楽監督】三谷 温

2024年3月ミズキーホールの開館記念式典・開館記念演奏会に出演したプレミアムな弦楽合奏団・アーツ室内オーケストラと、同じく開館記念演奏会で大好評を博し、米国ショパンコンクールでも優勝した注目の若手ピアニスト西本裕矢との共演が実現。曲目は「ショパンコンクールイヤー」の2025年にふさわしくショパンのピアノ協奏曲第1番。活力溢れ瑞々しい西本のピアノとアーツ室内オーケストラの芳醇な弦楽合奏の響がミズキーホールの空間で融合します。後半は、ベートーヴェンの代表作の一つ「ラズモフスキー弦楽四重奏曲」の弦楽合奏版。指揮は、ヴァイオリニストとして弦楽アンサンブルを熟知している高橋宗芳。メンバー全員がソリストとしての実力を備え、かつ室内楽経験も豊富な奏者で構成されているアーツ室内オーケストラならではの圧倒的な迫力を体感できるでしょう。ミズキーホールでしか聴けないスペシャルプログラムです。



ピアニスト **西本 裕矢** (Yuya Nishimoto)

米国ショパンピアノコンクール第1位優勝及びシマノフスキ最優秀演奏賞受賞。香川県文化芸術新人賞受賞。高松国際ピアノコンクール第4位入賞。ザルツブルク=モーツァルト国際コンクール in Tokyo 第1位ほか国内外で優勝多数。ポーランドやアメリカを始め国内外で演奏活動を行いオーケストラと共演を重ねる。ラジオ出演や月刊ショパンで執筆活動も行う。東京藝術大学4年宗次徳二特待奨学生。

- 公式Facebook@Yuya Nishimoto
- Instagram@nishimoto.yuya
- YouTube@YuyaNishimotoOfficialPiano



指揮者 **高橋 宗芳** (Muneyoshi Takahashi)

桐朋学園大学、イーストマン音楽学校でヴァイオリンを学んだ後、指揮法をニューヨーク市立大学クイーンズ校にてモーリス・ペレスに師事。またピエール・モントゥー・スクールにてマイケル・ジンボの下で研鑽を積んだ。2014年にニューヨークで室内オーケストラLucidity Chamberistasを設立し、コミュニティーに根差したオーケストラのあり方を模索する。2018年よりIMO New York協奏曲オーディションの指揮者を務めた。現在はアーツ室内オーケストラを指揮するほか、指導者として活動する。桐朋学園芸術短期大学講師。



ヴァイオリン **小林 美恵** (Mie Kobayashi)

東京藝術大学音楽学部を主席で卒業。1990年、ロン=ティボー国際コンクール ヴァイオリン部門で優勝。以来、国際的に本格的な活動を開始する。国内外の主要オーケストラと数多く共演する他、室内楽の分野においても活動を広げる。近年では自主企画公演も意欲的に展開しており、〈ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ全曲〉〈シューベルトの世界〉〈ブラームス ヴァイオリン・ソナタ全曲〉等、2023年には〈ラヴェルの世界〉を、2024年2月には〈モーツァルトの夢と幻〉を行い好評を博した。CDも【J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ(全曲)】等、多数リリース。美しく洗練され、またダイナミックで充実した演奏は高く評価されている。使用楽器は昭和音楽大学所有の1734年製ストラディヴァリウス。現在、昭和音楽大学客員教授、愛知県立芸術大学で後進の指導にあたる。【公式サイト】<https://miekobayashi.com>



アーツ室内オーケストラ (Arts Chamber Orchestra)

国際的に活躍する第一級の奏者と、新進気鋭の若手トップ奏者により構成された室内オーケストラ(2012年創立)。これまで指揮者には、J. メステル、M. サントルソーラ、K. マスリュク、M. パリス、大友直人、熊倉優、小森谷巧、ソリストには、G. プーレ、N. ルーツェヴィチ、L. レスコヴィッツ、E. イサエンコヴァ、小林美恵等を迎え各地で活動。音楽監督は昭和音楽大学教授・ピアニストの三谷温。